

Carbon Recycling Fund Institute

CO₂を資源として利用し、イノベーション創出に貢献

一般社団法人カーボンリサイクルファンド設立の背景及び趣意

地球温暖化問題については、NOxやSOxなどの大気汚染問題と異なり、地球全体でCO₂排出量を減らしていくことが重要であり、これまでの規制による対策のみでは解決が不可能です。

また、世界の約10億人が、電気の恩恵に供しておらず、エネルギーのアクセス改善が大きな課題となっています。

このような状況下、CO₂を資源として捉え、カーボンリサイクルイノベーションを推進するというカーボンリサイクル政策が我が国のエネルギー政策の重要な要素となってきています。近年、CO₂が悪者扱いされてきましたが、今後はむしろ積極的にCO₂をカーボン源として利用していき、2050年カーボンニュートラルという目標達成に向けて、一層の努力を行う必要があると考えています。

2019年（令和元年）8月30日に民間ベースで「一般社団法人カーボンリサイクルファンド」を設立し、地球温暖化問題と世界のエネルギーアクセス改善の同時解決を目指し、カーボンリサイクルに係る研究助成活動や広報活動等により、カーボンリサイクルイノベーション創出支援を行うこととしました。

概要

名称： 一般社団法人カーボンリサイクルファンド

設立日： 2019年(令和元年) 8月30日

主たる事務所： 〒105-0003

東京都港区西新橋三丁目2番1号Daiwa西新橋ビル3階

会費種別 (年会費)：

法人会員： 20万円 / 個人会員： 1万円 / 自治体会員： - / 学術会員： -

最高顧問 小林 喜光 (東京電力ホールディングス(株) 取締役会長)

顧問 橋川 武郎 (国際大学 副学長)

会長 福田 信夫 (三菱ケミカルグループ(株) 代表執行役エグゼクティブバイスプレジデント)

副会長 北村 雅良 (電源開発(株) 特別顧問)

専務理事 橋口 昌道

理事 丹生谷 晋 (出光興産(株) 代表取締役副社長)

理事 須山 千秋

監事 武田 孝治 ((株)IHI 常務執行役員 資源・エネルギー・環境事業領域長)

会員一覧 (2022年11月1日時点) 企業別/五十音順

合計:法人113、個人19、自治体9、学術5

法人会員

<化学>

- 旭化成株式会社
- AGC株式会社
- キャボットジャパン株式会社
- JSR株式会社
- DIC株式会社
- デンカ株式会社
- 東レ株式会社
- 戸田工業株式会社
- BASFジャパン株式会社
- 三井化学株式会社
- 三菱ガス化学株式会社
- 三菱ケミカル株式会社

<電力>

- 電源開発株式会社
- 東京電力ホールディングス株式会社
- 中国電力株式会社

<精密・エレクトロニクス>

- アグマンド並木精密宝石株式会社
- ウシオ電機株式会社
- 株式会社島津製作所
- 古河電気工業株式会社

<エネルギー>

- 出光興産株式会社
- 伊藤忠エネクス株式会社
- 株式会社INPEX
- ENEOSホールディングス株式会社
- 大阪ガス株式会社
- 山陰酸素工業株式会社
- 石油資源開発株式会社
- 東京エコサービス株式会社
- 東京ガス株式会社
- 東芝エネルギーシステムズ株式会社
- 日本コークス工業株式会社
- 株式会社日立製作所

<CO₂利用・再エネルギーリサイクル>

- 株式会社環境システムズ
- 株式会社CO₂資源化研究所
- 地熱技術開発株式会社
- 株式会社ユーグレナ

<鉄・非鉄金属・セメント>

- 會澤高圧コンクリート株式会社
- 株式会社神戸製鋼所
- 住友大阪セメント株式会社
- 日本製鉄株式会社
- 太平洋セメント株式会社
- 三井金属鉱業株式会社
- UBE三菱セメント株式会社

<商社>

- 伊藤忠商事株式会社
- コスモス商事株式会社
- JFE商事株式会社
- 住友商事株式会社
- 西華産業株式会社
- 双日株式会社
- 東京産業株式会社
- 東京貿易ホールディングス株式会社
- 豊田通商株式会社
- 丸紅株式会社
- 三井物産株式会社
- 三菱商事株式会社

<重工業>

- 株式会社IHI
- 川崎重工業株式会社
- 住友重機械工業株式会社
- 三菱重工業株式会社

<エンジニアリング>

- 株式会社荏原製作所
- JFEエンジニアリング株式会社
- 千代田化工建設株式会社
- 東洋エンジニアリング株式会社
- 日揮ホールディングス株式会社
- 日鉄エンジニアリング株式会社
- 日本ガイシ株式会社
- 日立造船株式会社
- 株式会社日立パワーソリューションズ
- 株式会社フソウ
- 横河電機株式会社

<印刷・映像・翻訳>

- 大日本印刷株式会社
- 凸版印刷株式会社

株式会社サン・フレア

<自動車・自動車部品>

- 愛三工業株式会社
- 日産自動車株式会社
- 日本特殊陶業株式会社

<航空・交通・輸送>

- 株式会社ジャムコ

<土木・建設・不動産>

- 株式会社FKGコーポレーション
- 株式会社大林組
- 大森建設株式会社
- 株式会社熊谷組
- 清水建設株式会社
- 新日本空調株式会社
- 大成建設株式会社
- 太平電業株式会社
- 東亜建設工業株式会社
- Dome Gold Mines Ltd.
- 株式会社日立プラントサービス
- ヒューリック株式会社
- 株式会社福祉開発研究所
- 株式会社フューチャーエステート
- 株式会社ベルテクスコーポレーション
- 株式会社豊正
- 三井不動産株式会社
- 若築建設株式会社

<金融関連>

- 株式会社大和証券グループ本社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 日本生命保険相互会社
- 富国生命保険相互会社
- 株式会社
みずほフィナンシャルグループ
- 株式会社三井住友銀行
- 三井住友トラスト・パナソニック
ファイナンス株式会社
- 株式会社三菱UFJ銀行

<食品>

- アサヒクオリティー
アンドイノベーションズ株式会社

<IT・分析・評価>

- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
- 富士通株式会社
- ポストン・コンサルティング・グループ合同会社
- みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
- 株式会社三菱総合研究所

<その他・関連団体等>

- KDDI株式会社
- 一般財団法人石炭フロンティア機構
- 一般財団法人電力中央研究所
- 一般財団法人
日本エネルギー経済研究所
- 一般社団法人
コンビナート連携推進機構

個人会員

- 上埜 博基
- 大野 陽太郎
- 郭 嬋
- 河村 博行
- 高橋 常郎
- 武内 亜矢
- 橋本 健二
- 平井 秀武
- 山田 秀尚
- 吉原 朋成
- 栄長 泰明
- 鬼形 博之
- 勝 欣一
- 櫻井 重利
- 武石 雅之
- 寺島 千晶
- 塙 守幸
- 峯村 健司
- 吉田 泰二

自治体会員

- 秋田県
- 群馬県安中市
- 広島県
- 広島県竹原市
- 北海道苫小牧市
- 香川県
- 長崎県西海市
- 広島県大崎上島町
- 北海道

学術会員

- 有村 俊秀(早稲田大学)
- 坂西 欣也(産業総合技術研究所)
- 学校法人東京理科大学
- 国立大学法人長崎大学
- 百瀬 和(秋田大学)



カーボンリサイクルファンドの活動

Carbon Recycling Fund Institute

- I. 広報活動
- II. 研究助成活動
- III. 事業支援、政策提言、情報調査等

会費、寄付

会員

異業種連携
イノベーション促進
社会実証

地方創生

国際連携

支援

貢献

活動紹介

(I) 広報活動

Webサイトはじめとする多様な媒体を通じて、国内外の最新の情報を提供するとともに、国際展示会への出展、各種メディアと連携したイベント・シンポジウム・研修会の開催等を行い、カーボンリサイクルに係る啓発活動等の広報活動を行います。

Webサイト等での情報発信



カーボンリサイクル大学



カーボンリサイクル大学とは、課題解決型思考の醸成とスタートアップ模擬体験による人材育成のプログラムです。

カボ・リサ物語



カボ・リサ物語とは、次世代に向けたカーボンリサイクルの意義・取り組みを楽しく学べるオリジナルストーリーコンテンツです。

カーボンリサイクルオンラインサロン



時節に合わせたトピックでオンライン講演会を開催し、議論を行っています。CRF会員限定のプログラムです。

展示会シンポジウム等への参加



スマートエネルギーWeek 2022

COP26バーチャルパビリオン

(II) 研究助成活動

カーボンリサイクル技術の実用化には、コストの課題、国際競争、基礎的研究への資金等の様々なハードルがあります。課題を乗り越えてイノベーションを創出しようとする研究者やスタートアップに向けて、グラント（助成金）の交付や会員とのマッチング等、研究助成活動を行っています。また、様々な取り組みの社会実験を目的とするワーキング活動を推進しています。

概要	
助成対象	企業、大学、法人等に属する研究者又は研究者チーム 2022年度からは、スタートアップ支援枠を新設
募集テーマ (期待する分野)	社会的課題を解決するため、CO ₂ （あるいは炭素原子）を資源として利用するCR、関連技術、CRを実現するための社会科学分野等に関する研究 <募集分野一覧> 1. 鉱物化（コンクリート等の材料）によるCO ₂ 固定化技術 2. 燃料への転換技術 3. 化学品への転換技術 4. CO ₂ 分離回収に係る技術（直接空気回収を含む） 5. 社会科学等の分野 6. CO ₂ 吸収源（土壌、森林、ブルーカーボン、生物の活用、農林水産等）に係る研究 7. その他（水素製造、ジオエンジニアリング、機能性材料、医療分野等）
評価ポイント	独創性・革新性・従来技術に対する優位性、課題設定の仕方、企業との連携などの社会実現可能性等
助成規模	1,000万円程度/件（平均助成額約700万円/件）
応募・採択件数	2020年度：35件応募→12件採択、2021年度：46件応募→12件採択 2022年度：一般公募55件→14件採択、スタートアップ枠29件→2件採択
研究成果の帰属	基本的に研究者に帰属



広報活動・研究助成活動は、寄付によって運営しています。



2021年度研究助成活動 成果報告会

<国プロ採択テーマ事例>

- ・NEDO、環境省事業採択「廃海水と生体アミンを用いた新たなCO₂鉱物化法の開発」（安元 剛（北里大学））
- ・GI基金採択 「超効率的なCO₂利用ポリウレタン原料製造法の開発」（竹内 勝彦（産業技術総合研究所））
- ・JST未来社会創造事業採択「低コストCO₂フリー水素製造に向けたCO₂吸着剤の開発」（犬丸 啓（広島大学））

(III) 事業支援、政策提言、情報調査等

カーボンリサイクルの社会実装・事業化に向けて、事業支援や国のエネルギー・環境・技術開発政策に対する提言等を行っています。また、カーボンリサイクルやCCUSに係る世界の最新ニュースをピックアップし、会員向けに毎週数十本を配信しています。